

今回の学校だよりでは主に学校行事について紹介したいと思います。

生徒総会(5/27)をリモートで行いました。生徒会本部役員、議長、各常任委員会の代表の生徒が中心になり本年度の活動計画等について議事を進めました。生徒会や各常任委員会からは具体的な取組も提示されました。内容をよく理解し、全校生徒で協力して取り組んでもらいたいと思います。中間テスト2日目に避難訓練(5/24)を実施しました。コロナの影響で学校全体での活動に制限があったため、全校生徒が実際に避難をする行動は3年ぶりとなりました。今回は地震と火災の発生を想定した訓練でした。頻繁に発生する地震はもちろんですが、台風や大雨等の気象警報への備え、交通事故や不審者対応を含めた自分の身を守る「危機管理」への備えを皆さんも確認してほしいです。



6月に入りオープンスクール(6/2)を実施しました。たくさんの保護者の皆さんにご参観いただきありがとうございました。午後からは3年生と保護者の方を対象とした進路講演会も行いました。今回は大和高田市立高田商業高校の山中先生を講師に招き「将来を見据えた進路選択」というテーマで講演していただきました。本校の卒業生2名も来てくれて、高校生活の身近な話も聞かせてもらいました。本校進路指導主任からも進路についての心構えや本年度の年間計画も説明してもらいました。3年生は保護者の方としっかり話をして、自分の進路を決定してほしいです。



3年生は修学旅行(6/15~17)を実施しました。2泊3日で信州方面に行ってきました。2泊の修学旅行も3年ぶりです。梅雨空の中でしたが、何とか雨にあわず色々な体験活動を行うことができました。安曇野でのサイクリングや天竜川を下るラフティング体験では、マスクを外したみんなの笑顔が印象的でした。校外学習も実施しました。1年生は神戸方面(5/17)、2年生は雨になりましたが大阪港周辺(6/21)での活動でした。



6月中頃より水泳の授業が3年ぶりに再開されました。2年間水泳から遠ざかっていたので、感染対策も含め心配しましたが、無事実施できています。水泳は全身を鍛える種目であるとともに、水の事故から自分を守るためにも必要な技能です。久しぶりに見た皆さんの笑顔は最高です。



コロナの影響はまだありますが、学校の色々な活動や行事は以前の状態に戻りつつあります。グループやクラス、また学年単位で行う活動は「協働的な学び」といわれ、集団の中でお互いの良いところを認め合い、異なる考え方を理解していく力を身に付けることができ、今まで大切にされてきた学習形態です。少人数学習やICT端末を活用した「個別最適な学び」と2本柱で進めることが、これからの「令和の日本型教育」といわれています。

(前回から続きです) 私が33年前に赴任した洞川中学校の話になります。香芝からは当時で2時間以上かかるので学校近くの教員住宅で生活しました。生徒の家で夕食を食べさせていただくなど、子どもや地域の方に育てられた教員生活でした。私は中学校からずっとソフトテニス続けており、教員を志望した理由の一つも部活動指導でした。洞川中学校は男子全員野球部、女子は全員バレーボール部か卓球部でしたが、無理矢理ソフトテニス部を作ってもらい女子部員3人とともに活動を始めました。テニスコートも近くの空き地を借りて、自分で作りました。頑張ったつもりでしたが、これがうまくいきませんでした。

東風(こち)、次回に続く

